

Ver _____

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく
温室効果ガス削減プロジェクト
モニタリング報告書
【参考様式】

プロジェクト名	
プロジェクト 代表事業者名	印

提出日 _____ 年 月 日

検証機関受理日 _____ 年 月 日

最終版提出日 _____ 年 月 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクト事業者(排出削減実施事業者) ※1			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
その他プロジェクト参加者 ※2,3			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※4			
事業者名(フリガナ)			
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※5			

※1:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。

※2:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。

- ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※3:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

※4:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちのいずれかであること。

※5:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B:プロジェクト活動の概要		
B.1 プロジェクト活動	項目	
	B.1.1 プロジェクトの概要	
	B.1.2 プロジェクトの進捗状況 (プロジェクトの進捗について記述。特に申請書と実施状況の間に乖離がある場合は、いつからどのような変更があり、その変更によるプロジェクトの削減量へどのような影響があるか(もしくはないこと)について記述。)	
B.2 プロジェクト 実施場所	(実施事業所名を記入)	
B.4 モニタリング対象期間	本申請による J-VER 発行対象期間	200X年X月X日 ~ 20XX年X月X日
B.5 削減量	t-CO2	

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの番号	No. E. ____	
C.2 適用方法論	方法論番号	JEAM _____
	方法論名称	

Ver _____

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく
温室効果ガス排出削減プロジェクト
モニタリング報告書(別紙)
【参考様式】

プロジェクト名	
プロジェクト代表事業者名	

提出日 年 月 日
受理日 年 月 日
最終版提出日 年 月 日

I. 排出削減量の算定で考慮する温室効果ガス排出活動」(方法論項目3)

ベースライン排出量				
排出活動	排出活動の説明	排出源(設備等)	温室効果ガス	備考

プロジェクト排出量				
排出活動	排出活動の説明	排出源(設備等)	温室効果ガス	備考

※ 方法論の「3. 排出削減量の算定で考慮する温室効果ガス排出活動」に示される排出活動以外にも主要な排出活動がある場合には上記に記入すること。
※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. 算定式（方法論項目4～6）

1. 排出削減量の算定 ※方法論を参照し、以下に排出削減量の算定式及び値を記入する。

--

2. ベースライン排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にベースライン排出量の算定式及び値を記入する。

--

3-1. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

--

3-2. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

--

3-3. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

--

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

IV. モニタリングフロー図

排出削減量の算定に使用するモニタリングが必要なパラメータについて、燃料、電力等の受入から消費までの流れを記載するとともに、各モニタリングポイントを明示する。

排出源			
燃料種別		モニタリングパターン	

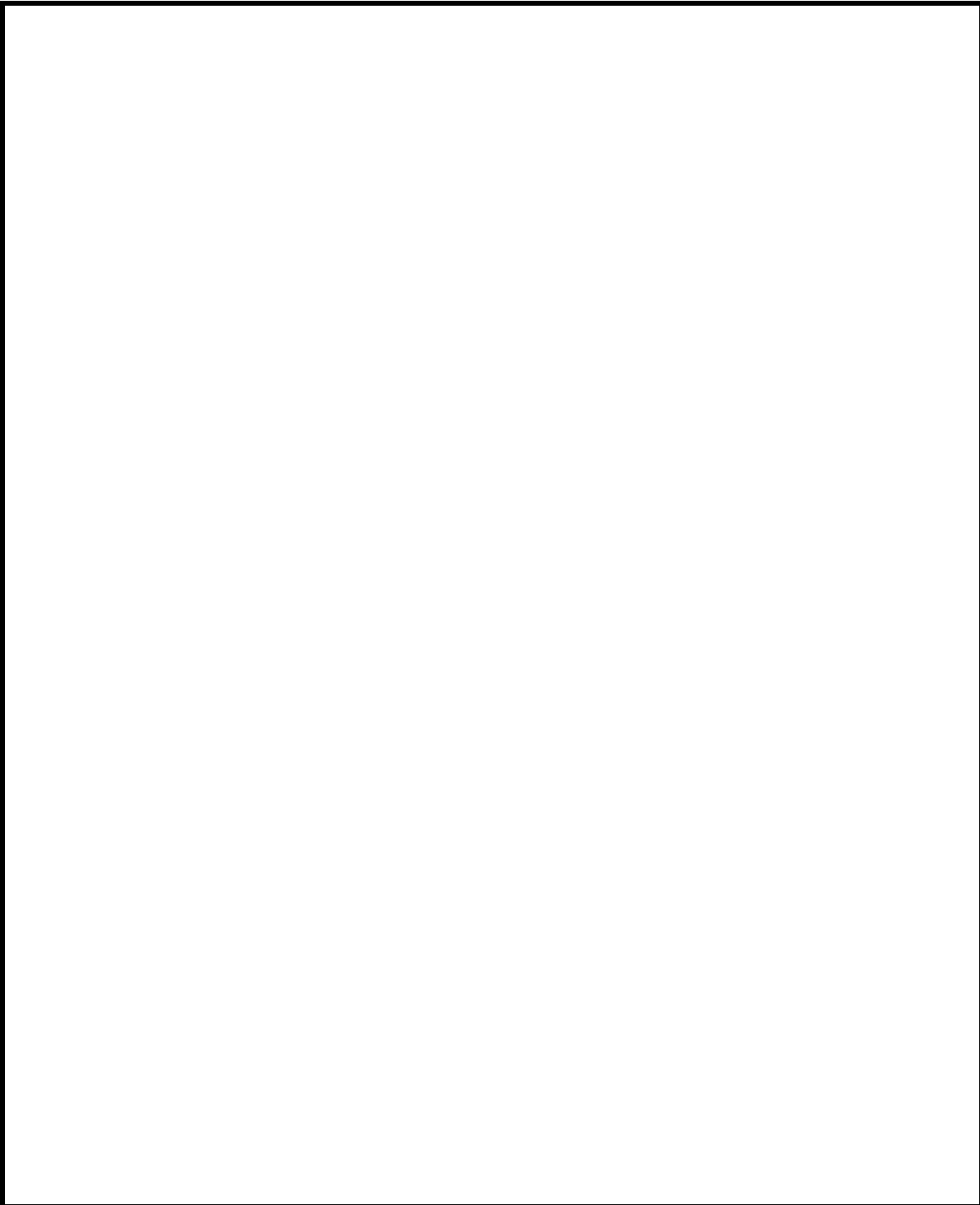
排出源			
燃料種別		モニタリングパターン	

排出源			
燃料種別		モニタリングパターン	

※使用するパラメータを全て記載すれば、必ずしも個別パラメータごとにフロー図を作成する必要はなく、一つのフローで全体を示しても良い。
※記入枠は必要に応じてコピーして増やすこと

V. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること(詳細については、モニタリング方法ガイドライン「第 I 部2. 2モニタリング体制の構築」を参照のこと)。



VI. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載すること。例えば、バイオマス燃料のモニタリングにおける手順や算定基準に関する社内研修や、発熱量・含水率等の計量を行う計量器の精度管理等が想定される(詳細については、モニタリング方法ガイドライン「第I部2.2モニタリング体制の構築」を参照のこと)。

※独自の様式や手順書等を作成している場合には本様式に添付しても良い。

VI. 備考

モニタリング項目等の説明で追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。